

教育支援学級について



令和7年度

三鷹市就学説明会資料

2026. 2. 13(金)

わか竹学級 担任:小林

教育支援学級とは・・・

○固定の特別支援学級

*三鷹市では、「**教育支援学級**」

○配置基準 1学級 = 8人

担任数は、**学級数 + 1**

(2人以下だと 1担任)

(例)

○児童数**16**名 ⇒ **2**学級 **3**人担任

*途中転入があっても担任の加配はなし

三鷹市内の固定の教育支援学級

7つの学園に5つの知的固定学級(小)

第七小
さくら学級

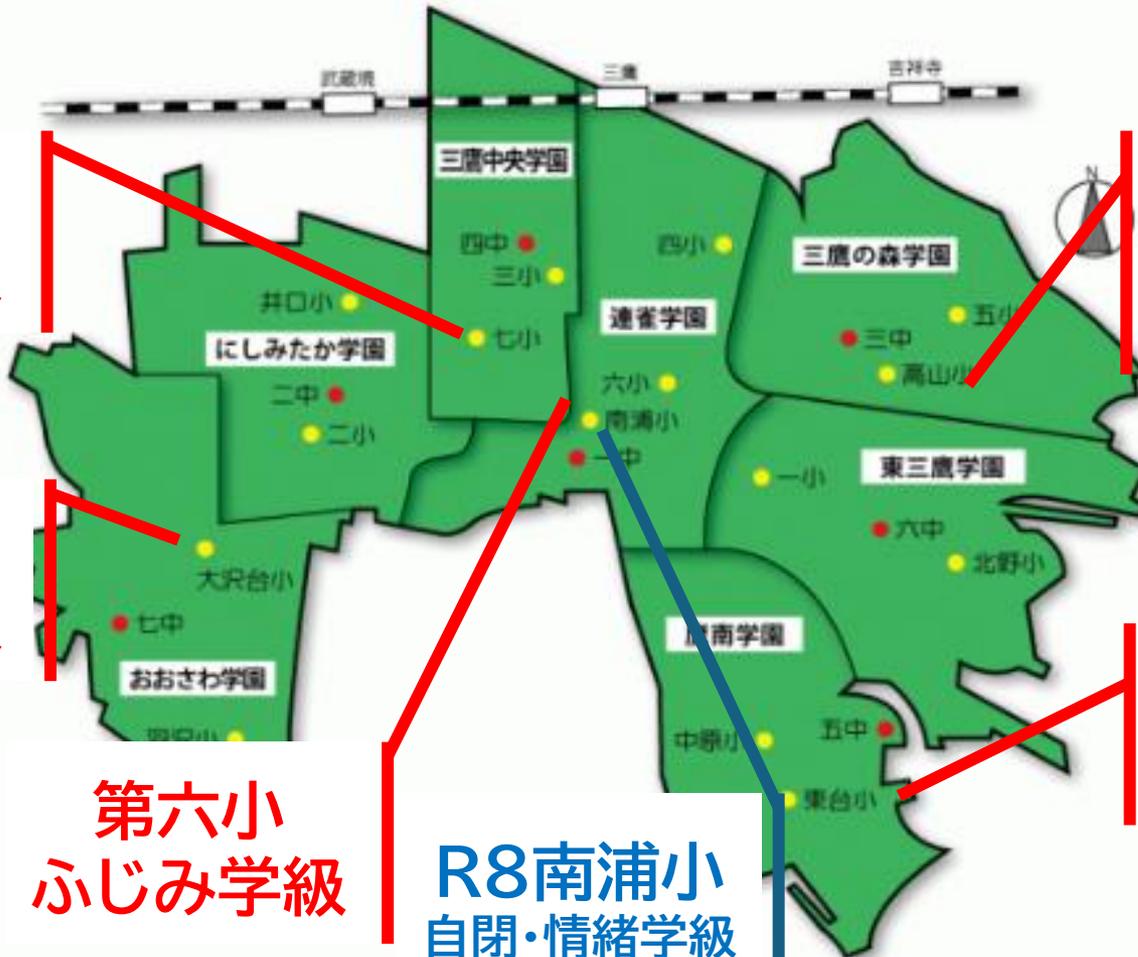
大沢台小
わかば学級

第六小
ふじみ学級

R8南浦小
自閉・情緒学級

高山小
わか竹学級

東台小
くすの木学級



「教育支援学級」と「通常の学級」の違い①

教育支援学級の教育課程

○特別支援学校 →特別支援学校学習指導要領
(小学校に準ずる教育)

○特別支援学級
学習指導要領 + 特別支援学校学習指導要領

○通常の学級 →各学年 学習指導要領

「教育支援学級」と「通常の学級」の違い②

★専門家指導

⇒子どもたちの**見たて方**を学ぶ

(例)

OT(作業療法士):年間6回(児童数等によって異なる)

★からだ作り・ボディイメージ

=「自分」をしっかりと掴むこと

ST(言語聴覚士):年間10回(児童数等によって異なる)

★コミュニケーションの力、表現=「関わり」

⇒支援者(教職員・保護者)が

子どもたちの「**今**」の状態を知ること

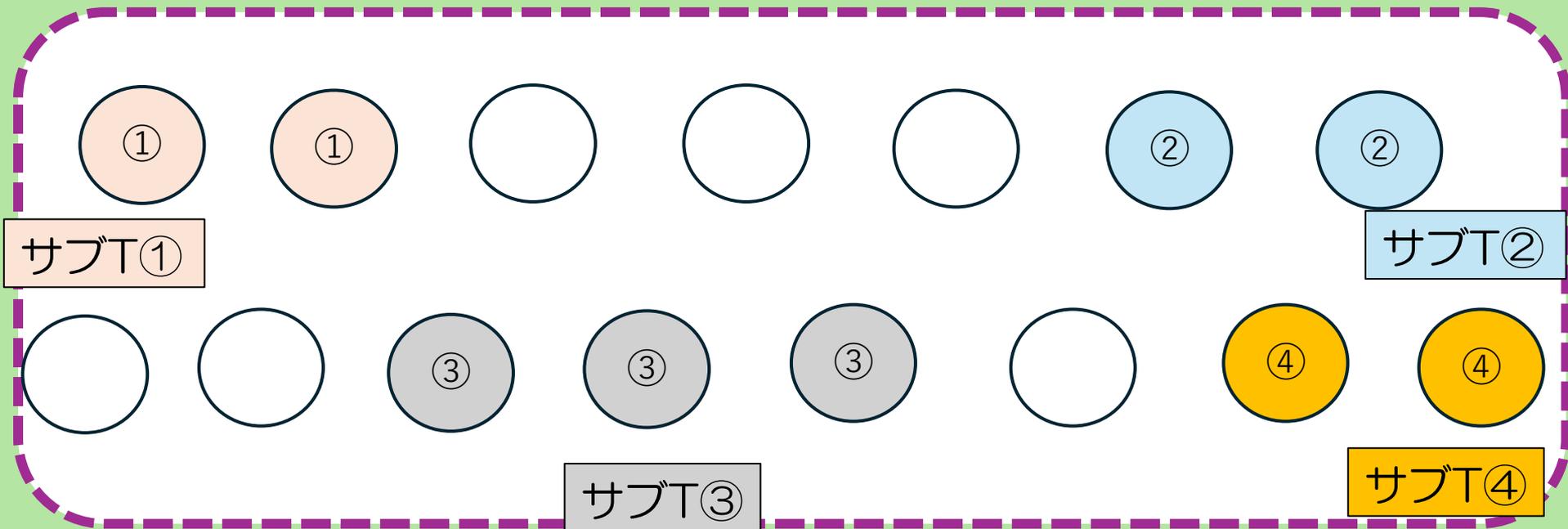
「教育支援学級」と「通常の学級」の違い③

★全体学習

「朝の会」「体育」「音楽」「道徳」など

(例) 体育

リーダーT



「教育支援学級」と「通常の学級」の違い④

★生活グループ(クラス)

身辺自立に向けての取り組み
朝・給食前後・帰りの支度
保護者との連携窓口・連絡帳

(例)

1組 **11**人
3・4・5・6年

担任:A・B

2組 **6**人
1・2・3年

担任:C

各校それぞれ、学年・児童の実態などに応じて、クラスを編成

「教育支援学級」と「通常の学級」の違い⑤

★課題別グループ(3担任=3グループ展開)

主に、国語・算数 共通して必要な課題+個別課題

(例)

Aグループ 担任A+介助員

しりとり
音と文字の一致
反対言葉・文字学習
1対1対応・くらべる
物の数え方

Bグループ 担任B+介助員

10までのたしざん
10までのひきざん
カレンダー
文字学習
音読・物語の動作化

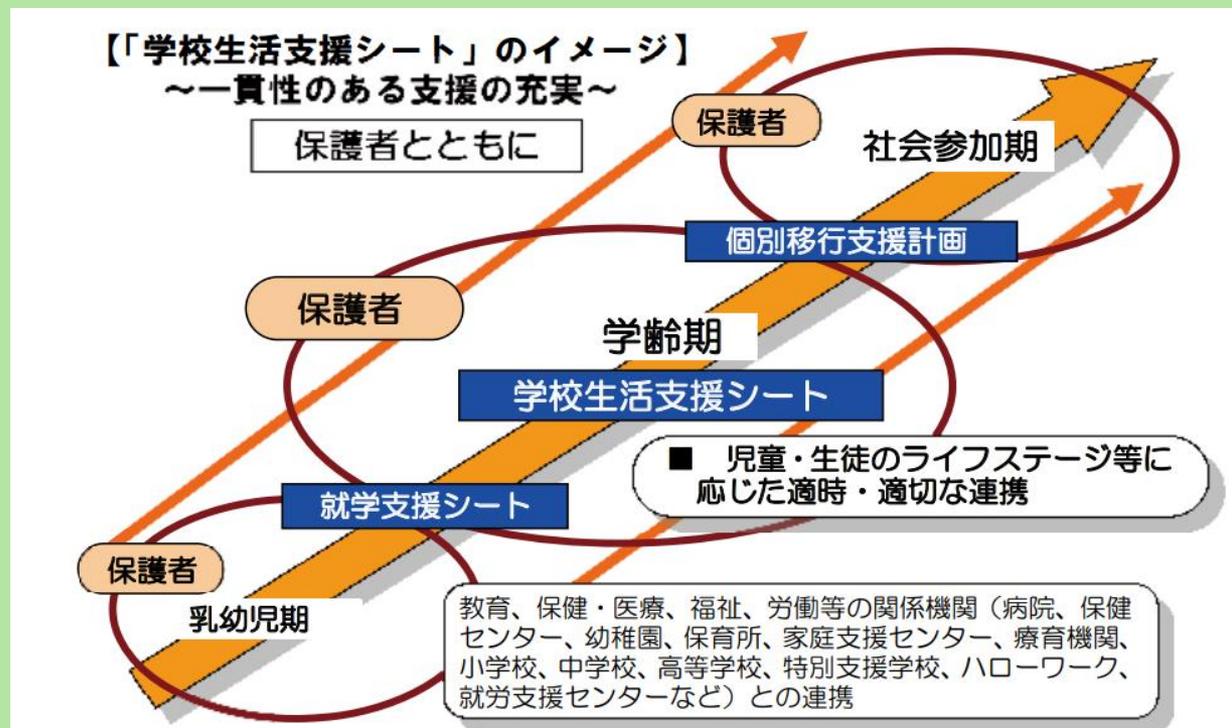
Cグループ 担任C

暗算・概数・時計・俳句
2桁以上の計算
3ヒントクイズ・文作り
ローマ字入力
友達と相談する場面
説明する・誘い合う
自分で答え合わせ

「教育支援学級」と「通常の学級」の違い⑥

学校生活支援シートの作成

*三鷹市では「個別の教育支援計画」



<長期目標・情報の整理と共有>

お子さんを中心に、保護者・教員・関係機関が連携し、
継続した支援を行っていくためのものです。

「教育支援学級」と「通常の学級」の違い⑦

個別指導計画の作成

一人ひとりのお子さんの課題や特性への理解を深めながら、保護者の方と話し合い、作成します。

本人の願い と 保護者の願い

→1年間に達成させたい内容・目標の設定
指導内容と指導の手だて
成果と課題

本人の願い		保護者の願い	
項目	目標	指導の手だて	成果と課題
学習活動			
生活自立			

<短期目標>

保護者と一緒に、お子さんのこの1年のめあてや手立てを考えていきます。

「教育支援学級」と「通常の学級」の違い⑨

縦割りの生活・・・「次は自分の番」「〇〇さんみたいになりたい」

自己肯定感や自己有用感を大切に

仲間との関わりを大切に



「各教科等を合わせた指導」①

日常生活の指導

基本的な生活習慣の習得

- **食事** (マナー、箸の使い方など)
- **排泄** (排泄のタイミングの判断など)
- **着替え** (服の着脱、ボタン、ファスナー)
- **清潔** (手洗い、歯磨きなど)
- **整理・整頓** (持ち物の管理など)
- **健康** (栄養、けがや病気の予防など)
- **安全** (災害、交通ルールなど)

社会性の育成

自立心の育成

- **コミュニケーション** (挨拶、対人関係など)
- **自分の役割** (学校行事やクラスの役割など)
- **手伝い、仕事** (当番活動など)
- **学校生活** (きまり、予定、時計など)
- **自然** (天気、季節、生き物)
- **社会生活** (買い物、金銭、社会のしくみ)

「朝の会」

今日の予定を確かめます

場所の確認

持ち物の確認

「今日は **体育** の授業 があります」

体育館の写真で場所の移動を確認

安心して1日がスタート！

見通しを持つ・期待感を持つ・予測する・質問する



「各教科等を合わせた指導」②

生活単元学習

自立や社会参加のために必要な事柄を実際的・総合的に学習

● 行事単元

(遠足、春・秋探し、自然教室、運動会、宿泊学習、体験学習、お別れ会など)

● 季節・自然単元 (季節の行事、栽培活動など)

● 課題単元 (なかよし班活動、話し合い活動、お礼のお手紙など)

● 制作遊び単元 (ヨモギホットケーキ、どんぐりクレープ作り、手作りおもちゃ遊びなど)

● 遊びを中心とした単元 (お店屋さんごっこ、お楽しみ会など)

● 特定の教科と関連した単元 (生活科、理科、社会、家庭科、外国語活動など)

「調理学習」 「栽培・収穫」 「氷の実験」



感じる心・期待感を持つ・希望を伝える力
自分たちで育てた物を食べる・手の使い方
エプロン自分で身に付ける・バンダナを結ぶ



「各教科等を合わせた指導」③

あそびの指導

心身の発達

- はんかち落とし
- イス取りゲーム
- なんでもバスケット
- ボッチャ
- 宝探しゲーム
- 魚釣りゲーム
- 的当てゲーム
- 鬼ごっこ、かくれんぼ
- ジェンガ
- ドミノ倒し

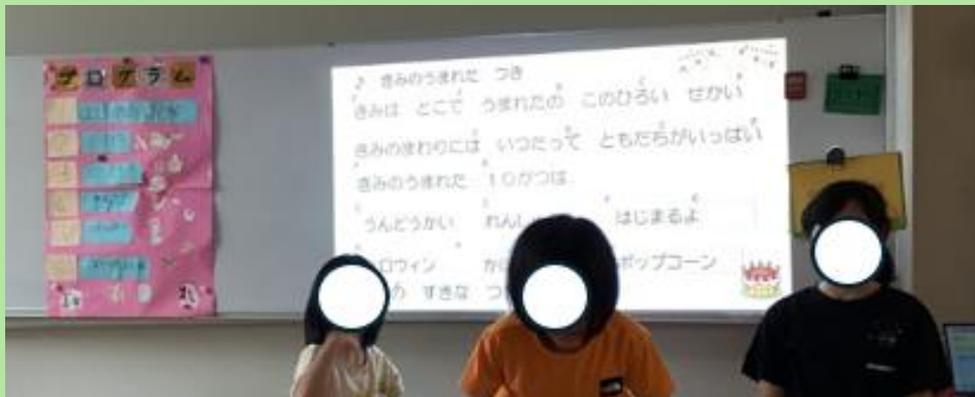
学習意欲

社会性・協調性

自立心

- 協力リレーゲーム
- ジェスチャーゲーム
- 震源地ゲーム
- UNO、トランプ、坊主めくり
- まるばつゲーム
- 棒消しゲーム
- はないちもんめ、かごめかごめ
- めんこ、カルタなどの昔遊び
- オセロ
- 手作りおもちゃ遊び など

「誕生日会」 「みんなであそぼう」



自己肯定感・人への関心
ルールの理解・調整する力



「各教科等を合わせた指導」④

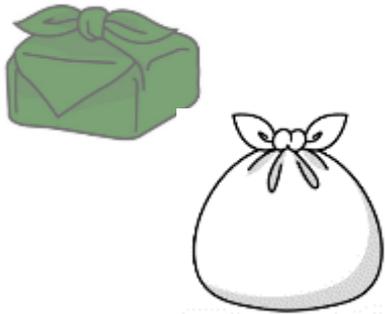
*知的障害学級では、「時間割」としては表されてはいません

自立活動

- **健康の保持**（生活リズム、衣服の着脱、登下校、時間、体調など）
- **心理的な安定**（情緒、調整力、状況の理解、こだわり、余暇など）
- **人間関係**（挨拶、感情への気付き、身だしなみ、自己理解、友達関係、集団参加など）
- **環境の把握**（触る、見る、聞く、話す、読む、書く、学習場面の把握など）
- **身体の動き**（姿勢保持、身体感覚、学習用具の操作、基本動作「走、跳、投」）
- **コミュニケーション**
（非言語の意思疎通、気持ちや言葉の受け止め、気持ちの表現、語彙の獲得、会話など）

ヒントは「家庭生活」「学校生活」の中に！

むすぶ①
りょうてに もって



むすぶ②
くるっとまるめて ぬく



ハンガーにかける



タオルをほす



はこぶ①
おぼんにのせて



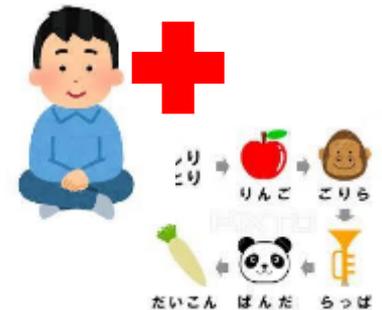
はこぶ③
おもいもの



ゆびのたいそう



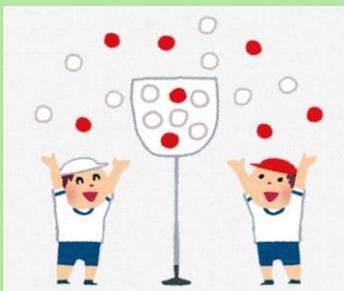
あぐらで
しりとり



「通常の学級」との交流及び共同学習①



同じ小学校で過ごす仲間として、
互いを理解し、共に助け合い、
支え合って生きていくことの大切さを学び合う



「通常の学級」との交流及び共同学習②

各校・各学級の特徴を生かして

- 掃除交流
- 一緒に遊ぼうなど

学級の体制とお子さんの実態に応じて

- 教科交流
- 給食交流など

「通常の学級」との交流及び共同学習③



「通常の学級」との交流及び共同学習④



クラブ活動



- ★学級で付けた力を 大きな集団で発揮する場に
- ★「皆と同じ活動」より、めあてとやりがいのある活動に



委員会活動



なぜ、教育支援学級で学ぶの？

少人数で先生が
たくさんいるから？



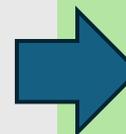
くりかえしやれば
できるようになる？

ゆっくりやれば
わかるようになる？



大人が言って聞かせたこと ≠ 子どもができる

「子ども本人がどう思っているか」
を 周囲の大人が見極めること



今の課題
手立て
いつ

おわりに・・・

<お子さんの 健やかな成長にとって
大切な教育の場は？>

①お子さんが心地よく感じられる場所
～学びの主人公はお子さんです～

②少し手を伸ばせば届くことのできる課題が
いつも用意され、意欲のもてる場所
～学齢期は心も体も大きく成長する時期～